

## UNICEF新規プロジェクト

### 「新型コロナウイルス感染拡大への対応としての 社会経済的回復及び水及び排水インフラの強化支援」

日本政府は、令和2年度補正予算により、UNICEFのヨルダンでのプロジェクト「新型コロナウイルス感染拡大への対応としての社会経済的回復及び水及び排水インフラの強化支援」に対する約200万ドルの支援を決定し、5月11日、プロジェクトの立ち上げに際して、UNICEFと共同プレスリリースを発出しました。

本支援は、UNICEFがヨルダン政府と協力し、パンデミックの最悪の影響から子供たち及び若者を保護するための社会経済的回復の取組を支援すると共に、公平な水と衛生（WASH）サービスの提供を通じて、気候変動に強いヨルダンの未来を支援するものです。

嶋崎駐ヨルダン大使は、「この困難な時期において、脆弱なコミュニティへの社会経済的影響は、ヨルダンにおいて大きな懸念事項である。UNICEFを通じた我々の支援が、このような悪影響を緩和し、COVID-19に関連する様々な課題に対応するための脆弱な人々のレジリエンス向上に貢献することを心から願う。特にWASH、社会保護、児童保護、青少年の分野における、日本政府のプロジェクトの活動を実施するための貴重なパートナーとしての、UNICEFの重要な役割に感謝する」旨述べました。

シャプイサUNICEFヨルダン事務所長は、「我々は、ヨルダン全土における最も脆弱な子供たちとその家族への継続的な取組及び支援に対して、日本政府に心から感謝する。我々は、共に全ての子供たちのより良い未来を再考し、子供たちが健康で安全に保護されて成長できるよう目指すことができる」と述べました。

本支援は、UNICEFによる脆弱なコミュニティへのサービス拡大を後押しするもので、パンデミックによってもたらされた社会経済的状況のために選択肢が大幅に制限されてしまった若者への、より強力な社会的支援と雇用機会の提供が含まれ、プログラムは特に、若い女性のエンパワーメントに焦点を当てています。

また、コミュニティや学校でのWASH設備の確立と修復プロジェクト、UNICEFマカニセンターによる統合学習と児童保護サービスを通じて、水不足を経験している脆弱な子供たちとその家族の気候変動に対するレジリエンス強化をサポートし、社会的結束を改善します。

## UNICEF新規プロジェクト

### 「新型コロナウイルス感染拡大への対応としての 社会経済的回復及び水及び排水インフラの強化支援」

日本政府は、ヨルダンのUNICEFとの協力を続けており、シリア危機以降、ヨルダンのUNICEFに対し4,000万ドル以上を提供し、UNICEFの活動を支援してきました。

